

第 16 回（令和 5 年度）熱帯医学研修 開催要項

1. 研修目的

国際赤十字・赤新月運動の保健活動の根幹をなす概念であるプライマリーヘルスケア（PHC）の基本活動を実行するにあたり、熱帯医学の知識を習得することにより、以下のことを目指します。

- ・ 国際赤十字・赤新月社連盟の保健事業を深く理解し、国際活動により貢献できる要員となること。
- ・ ERU、コミュニティヘルス活動といった日本赤十字社の国際活動の更なる充実を図ること。
- ・ 派遣要員が自身の健康を管理するための基礎知識を習得し、派遣地での安全な保健環境を維持すること。

2. 研修内容（概要）

以下の内容について、座学（主にオンライン）、グループワーク・シミュレーション・顕微鏡実習（集合型研修）等により習得する。

- ① 全ての職種に必要な熱帯医学の基本的な知識。
- ② 熱帯地域特有の感染症を診断・予防するための基礎知識。
- ③ マラリアの臨床や診断に関する知識。
- ④ デング熱やジカ熱などの輸入感染症の疫学と臨床。
- ⑤ 派遣準備段階から必要となる派遣員個人の健康管理。
- ⑥ 被災地や集団における予防接種の計画立案のための基礎知識。

3. 研修スケジュール

本研修は、オンライン研修と集合型研修によって構成される。参加者はすべてのプログラムに参加すること。

※オンライン研修について、設定された時間に参加出来ない場合は、集合型研修開始までに録画を視聴完了すること。

オンライン研修*

- ① 8月24日(木)18時～19時40分（終了予定）＊後日、録画配信あり。
- ② 8月28日(月)18時～19時40分（終了予定）＊後日、録画配信あり。

集合型研修

9月1日(金)12時30分(受付開始)～9月3日(日)12時30分(終了予定)

4. 研修会場

日本赤十字社和歌山医療センター 本館 12 階 多目的ホール

5. 研修プログラム

別紙参照

6. 使用言語

日本語 ※資料など、一部英語表記のものがあります。

7. 研修対象者

以下のいずれかの条件を満たすこととし、職種は不問とする。

- ・ 次のいずれかの研修を修了していることが望ましい。

国際救援・開発協力要員基礎研修 I (WORC)、国際救援・開発協力要員基礎研修 II (IMPACT)、保健医療 ERU 研修 (旧基礎保健 ERU 研修含む)

- ・ 今後、国際赤十字の派遣要員としての活躍が期待される職員

8. 研修申込方法

令和 5 年 7 月 10 日 (月) までに、下記入力フォーム

(<https://forms.gle/GfCyDLEdQ4kmVgmd7>) からお申し込みください。

※必ず、所属施設の了承のもと、お申込みをお願いします。

※申込後、受領確認メールが自動送信されます。受領確認メールが届かない場合はお手数ですがその旨をお問い合わせ願います。

9. 研修人数

上限 25 名

※応募者多数の場合は書類選考を行います。参加の可否については申込者全員に対して 7 月上旬に通知予定です。

10. 研修参加費等

- (1) 受講料および資料代は無料です。
- (2) 研修期間中の昼食の手配は、受講決定時に希望者を募り、お弁当 (2 日目分 : 金額は調整中) を手配いたします。施設内および近隣には売店などがあります。(詳細は受講決定後にお知らせします)
- (3) 研修参加にかかる旅費について、日本赤十字社支部・施設からの受講者は国際医療救援事業交付金の対象です。それ以外の受講者は所属先にてご負担願

います。また、参加にかかる公共交通機関および宿泊は各自で手配してください。

- (4) 同交付金対象の場合、研修参加にかかる旅費は、おって申請・充当してください。ただし、昼食代は対象外です。なお、同交付金の旅費の扱いについては、平成 26 年 9 月 30 日付人事第 445 号「本社招集旅費の取扱いについて」が適用されます。

11. お問い合わせ先

日本赤十字社和歌山医療センター 国際医療救援部 担当 林・寺尾

〒640-8558 和歌山市小松原通 4-20

電 話 : 073-422-4171 (内線 3434)

E メール : imrd@wakayama-med.jrc.or.jp